

神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略検討資料 (第3回会議 意見反映版)

1 基本的な考え方

未病を治し、健康寿命を延伸する取組みを推進することを基本コンセプトに、次の3つの方向性を地方創生に向けた本県の基本的な考え方として、取り組んでいく。

- 地域の特性や資源を最大限に活用し、地域の魅力に磨きをかけ、その魅力を発信することで、「マグネット力」を高め、ヒト・モノ・カネを引きつける神奈川を実現する。
- 3つの特区の活用などにより成長産業の創出・育成を図り、経済のエンジンを回し、安定した雇用を生み出すことで、若い世代の就労希望を実現する。
また、結婚・出産・子育てに関する、県民の希望が叶う、いのち輝く神奈川を実現する。
- 人口や産業など地域を取り巻く環境の違いや、その地域が有する資源の有効活用を踏まえ、それぞれの地域の特性を活かした、活力と魅力あふれる神奈川を実現する。

2 対象期間

2015 年度(平成 27 年度)から 2019 年度(平成 31 年度)

3 基本目標

基本目標1 県内にしごとをつくり、安心して働けるようにする

基本目標2 神奈川への新しいひとの流れをつくる

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

基本目標1 県内にしごとをつくり、安心して働けるようにする

(基本的方向)

- 国家戦略特区、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区、さがみロボット産業特区の3つの特区などを最大限活用した成長産業の創出や、競争力のある農林水産業の育成など経済のエンジンを回す。
- 若年者、高齢者、女性などの多様なニーズに対応した人材育成や就業支援を進めるとともに、外国人人材の育成・活用などに取り組む。
- 再生可能エネルギー等の導入加速化やスマートコミュニティの形成などに取り組み、地産地消の新しいエネルギー体系を確立する。

(1) 将来の経済を担う産業創出

① 成長産業の創出・育成

・最先端医療関連産業の創出・育成

A 国家戦略特区など3つの特区を活用した、ヘルスケア・ニューフロンティアの推進による最先端医療関連産業の創出・育成

・「未病産業」の創出・育成

B 超高齢社会において成長産業となり得る、神奈川県発の健康寿命の延伸に資する「未病産業」の創出・育成

・ロボット関連産業の成長促進

C 生活支援ロボットの实用化・普及を図り、関連産業の成長を促進する「さがみロボット産業特区」の取組みの推進

・県内中小企業の海外展開支援

D 海外進出セミナーの開催など県内中小企業の海外展開支援を図る

【今後検討する取組み】

- ・ 全県特区と地方創生を結びつける取組み
- ・ 労働生産性の向上ノウハウ共有

② 企業誘致などによる産業集積の促進

・3つの特区を活用した関連産業等の集積促進

A 国家戦略特区など3つの特区を活用した産業等の集積の促進

・ベンチャー支援と起業促進

B ベンチャーが取り組む成長分野にかかるプロジェクトの事業化や起業の促進

・事業承継への支援

C (公財) 神奈川産業振興センターに設置した「事業引継ぎ支援センター」によるM&Aも含めた引継ぎ支援や、同財団が他の中小企業関連団体等と連携して行う計画策定などの支援

【今後検討する取組み】

- ・起業を希望する留学生等の支援
- ・企業立地のための土地利用に係る手続きの柔軟な運用
- ・C C R Cの推進
- ・介護の仕事における生産性向上に向けた県独自の仕組みづくり

③ 地域主導再生可能エネルギー事業による地域経済の活性化

・地域における再生可能エネルギー事業の支援

- A 再生可能エネルギー事業者が地域で資金調達等を行い、地域に資金を循環させる事業を支援

(2) 農林水産業の活性化

① 県民ニーズに応じた農林水産物の生産支援と利用促進

・スマート農業技術の開発・普及支援

- A 県民の求める「食」を提供するための取組みやスマート農業技術の開発・普及などの支援

【今後検討する取組み】

- ・農業と観光を組合わせて地域活性化を実現する観光農業の取組み

② 農林水産業における働く機会の提供

・農林水産業への若者や企業などの参入促進

- A 農林水産業への若者の新規参入や企業参入などを促進

・新たな担い手への技術指導や経営相談

- B 新たな担い手への技術指導や経営相談などにより、就業後の定着、自立化や経営の発展に向けた支援

(3) 一人ひとりが輝きながら働ける雇用の創出

① 産業を支える人材の育成

・職業能力開発や就職支援及び外国人人材の活用

- A 企業や求職者のニーズに応じた職業能力開発や就職支援、スキルアップ支援を行うとともに、外国人人材の活用を図る

② 就業支援の充実

・若年者、高齢者、女性への就業支援

- A 正規雇用をめざす若年者や働く意欲がある高齢者、子育て中の女性などの多様なニーズに対応するため、キャリアカウンセリングやセミナー、相談などによる就業支援、就業機会の提供

・県内での就職を希望する留学生への支援

- B 県内での就職を希望する留学生を支援するため、企業や大学などと連携した就職支援セミナーの開催や、留学生と県内企業とを結ぶマッチング機会の提供

・安心して働ける労働環境の整備

Ｃ 労働相談や労働講座の実施、メンタルヘルス対策の推進や労働安全衛生の普及啓発

【今後検討する取組み】

- ・サテライトオフィスによる雇用に推進
- ・女性の起業を促進する取組み
- ・テレワークの推進
- ・ホワイト企業に対する経済的インセンティブの付与

基本目標2 神奈川への新しいひとの流れをつくる

(基本的方向)

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、国内はもとより、インバウンド観光も呼び込むため、新たな観光の魅力づくりを進めるとともに、観光プロモーションの強化を図る。
- 地域の特性や資源を活用したプロジェクトを推進するとともに、商店街をはじめ、地域の魅力に磨きをかけて、人を呼び込み、引きつけるマグネットをつくり、地域活性化を図る。
- 県内各地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルを発信し、県内への移住を促進する。また、若い世代への雇用対策などとともに移住支援を行い、地域の魅力を効果的に発信し、強いマグネット力で企業や人を引きつける。

(1) 「観光立県かながわ」の実現

① 新しい観光魅力づくり

・外国人旅行者を呼び込む環境づくり

- A 神奈川の魅力の世界に発信し、多くの外国人旅行者を呼び込むため、地域の魅力を磨き上げるとともに、安心して快適に旅ができる環境づくりに取り組む。

・新たな観光の核づくりの推進

- B 城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域における地域の特徴を生かした新たな観光の核づくりの推進

・観光資源の発掘と磨き上げ

- C 魅力ある旅行商品の販売促進など、観光資源の発掘と磨き上げ

・「かながわシープロジェクト」の推進

- D マリンスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、海の魅力をパッケージで発信する「Feel SHONAN」キャンペーンを展開するなど、「かながわシープロジェクト」を推進

【今後検討する取組み】

- ・宿泊型観光の推進
- ・官民連携による交通整備の促進
- ・路線バスの観光への活用
- ・誘客に向けたシーレーンの整備

(2) 地域資源を活用した魅力づくり

① 県西地域活性化プロジェクトの推進

- ・「未病を治す」取組みの推進
 - A 「自然」「食」「癒し」などの多彩な地域資源を生かした「未病を治す」取組みの推進
- ・県西地域の自然環境等を生かした観光の振興
 - B 「未病」の取組みを契機に、県西地域の自然環境等を生かした観光の振興

② 三浦半島の資源を生かした地域の活性化

- ・地域資源を生かした地域活性化の推進
 - A 変化に富んだ海岸線や豊富な歴史的文化遺産、農水産業など、潜在的な資源を生かした地域活性化の取組みの推進

【今後検討する取組み】

- ・三浦半島における宿泊型観光の推進

③ 地域のマグネットとなる魅力づくり

- ・地域の文化資源を生かしたマグカル[®]の全県展開
 - A 世界に向けて神奈川の文化の魅力を発信するため、市町村などと連携しながら地域の文化資源を生かしたマグカル[®]の全県展開を図る。
- ・県内への移住促進
 - B 地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルを発信し、県内への移住を促進
- ・ダム湖と周囲の自然環境を生かした水源地域の活性化
 - C 神奈川の豊かな水を育み守ってきた水源地域の活性化を図るため、ダム湖と周囲の自然環境を生かしたイベントの実施や魅力の発信
- ・魅力ある商店街の創出
 - D 県内外から人を引きつける魅力ある商店街を創出するため、地域商業のブランド育成に取り組む商店街の掘り起こしや、商業人材の育成などに取り組むとともに、商店街をめぐる観光ツアーを展開する。

【今後検討する取組み】

- ・鉄道輸送の質的向上に向けた取組み

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(基本的方向)

- 結婚から育児までの切れ目ない支援や女性の活躍支援を行い、若い世代が安心して結婚、出産、子育てができるよう環境を整える。
- 若者へのライフキャリア教育を推進する。
- 長時間労働の解消や仕事と子育てや介護が両立できる環境を整える

(1) 男女共同参画の推進

① 誰もが個性と能力を発揮できる社会づくり

・女性の活躍・登用の促進

A 神奈川なでしこブランド事業の展開による女性の活躍・登用の促進

・講座や啓発事業の実施

B 男女共同参画社会を推進するための講座や啓発事業

・女性の活躍を応援する応援団の結成

C 女性の活躍を応援する大企業等のトップによる応援団の結成

・ライフキャリア教育の促進

D 働き方や妊娠・出産、育児など若者へのライフキャリア教育を促進

【今後検討する取組み】

- ・ホワイト企業への優遇支援及び戦略的誘致
- ・フレキシブルな働き方などの支援

② 仕事と子育てや介護を両立できる環境づくり

・ワーク・ライフ・バランスの普及啓発

A 男女が共に生き生きと働ける環境をつくるワーク・ライフ・バランスを促進

・男性の意識啓発に向けた取組みの推進

B 男女共同参画センター（かなテラス）を推進拠点とした、男性の意識啓発に向けた取組みの推進

・男性の育児休業取得の促進

C 男女が共に働きながら子育てしやすい社会を実現していくため、男性の育児休業取得を促進

【今後検討する取組み】

- ・在宅勤務・サテライトオフィス・テレワークの推進
- ・企業への出産適齢期の周知

(2) 子育てを応援する社会の実現

① 子ども・子育て支援と結婚から育児までの切れ目ない支援

・思春期の男女を対象とした健康相談や健康教育

A 思春期の男女を対象とした身体等の健康に関する相談や健康教育など普及啓発事業

・結婚に向けた機運の醸成

B 恋カナ！プロジェクト事業の展開による結婚に向けた機運の醸成

・産科医の確保・育成

C 安心して出産できるように産科医の確保や育成に関する助成事業

・不妊治療に対する支援

D 不妊治療の経済的な負担の軽減

・保育環境の整備

E 全県待機児童ゼロをめざす保育環境の整備

・社会全体で子育てを応援する環境づくり

F かながわ子育て応援パスポートなど子育てしやすい環境づくりの推進

・子ども・子育て支援新制度の円滑な運用

G 保育サービスの基盤づくり、保育人材の確保・育成の取組みなどの子育て家庭のニーズに応じた子ども・子育て支援新制度の円滑な運用

【今後検討する取組み】

- ・ 3世代近居の促進
- ・ 第3子以降に着目した子育て負担軽減事業
- ・ 公立学校の進学率向上による教育費軽減

② 支援を必要とする子ども・青少年への取組み

・母子世帯への子育て支援

A 生活困窮の懸念が高い母子世帯への支援に重点を置いた子どもの貧困対策の推進

・困難を有する青少年の相談・支援の充実

B 子ども・若者総合相談窓口の設置及び地域若者サポートステーションにおける青少年の職業的自立支援

基本目標4 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

(基本的方向)

- 交流と連携を支え、地域活性化に資する幹線道路ネットワークの整備と活用、鉄道ネットワークの充実強化、リニア中央新幹線県内駅などによる南北ゲートの形成を図る。
- 老朽化するインフラへの対策や都市機能の集約化などを進めるとともに、景観や歴史文化などの地域の特色を生かしたまちづくりや空き家対策に取り組む。
- 高齢者から子どもまでの多世代が支え合いながら生活できるまちづくりやバリアフリーのまちづくりを推進する。

(1) 交通ネットワークの充実やまちづくりの推進

① 交流と連携を支える道路網の整備と活用・鉄道網の整備

・幹線道路の整備と活用やリニア中央新幹線の建設促進

- A 自動車専用道路やインターチェンジ接続道路などの幹線道路の整備、道路を永く、有効に活用する取組みの推進、在来線を活用した鉄道ネットワークの充実強化、リニア中央新幹線の建設促進を図る。

② 持続可能な魅力あるまちづくりの推進

・バリアフリーのまちづくりの推進

- A 段差解消や幅広歩道の整備など、誰にでもやさしいバリアフリーのまちづくりを推進

・都市機能の集約化などの推進

- B 都市機能の集約化（『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の推進）や地域の新たな拠点づくりの推進

・空き家対策などの推進

- C 地域の特色を生かしたまちづくりや空き家対策の推進

【今後検討する取組み】

- ・高齢化による交通弱者への支援
- ・地方創生に資する県有地・県有施設の有効活用
- ・地方創生に資する路線バスの支援

(2) 地域コミュニティの活性化

① 地域コミュニティ活性化の推進

・健康で安心な高齢者居住の推進

- A 多世代が居住し、高齢者等が健康で安心して住み続けられる団地に再生する「健康団地」など、コミュニティ活性化に向けた取組みの促進

・地域包括ケアシステムの構築

B 医療、介護、生活支援などのサービスを身近に利用できる地域包括ケアシステムの構築や地域包括支援センターの支援

・身近な場所で未病を治す環境づくり

C 身近な場所で未病を治す取組みを実践できる未病センターの整備等の環境づくりの推進

・障害者の社会参加の促進

D 障害者の社会参加を実践する生きがいくりの取組みを促進

・介護人材の定着・確保と介護保険施設の計画的整備の促進

E 介護サービスの提供に必要な介護人材の育成や就業支援などにより、人材の定着・確保を推進するとともに、高齢者の状況に応じたサービスが受けられる介護保険施設の計画的整備を促進

【今後検討する取組み】

- ・CCRCの推進
- ・幼老複合施設における異世代交流の推進
- ・自治会や町内会の抜本的な制度の見直しによるエリアマネジメント
- ・地域活性化に向けたエリアマネージャーの設置